



昨年の大津の事件以来、いじめは全国で社会問題になっています。しかし、この様な事件に至らぬまでも、いじめにつながる悪口・意地悪・ケンカなどのトラブルほどの学校でも起こっています。人間が集まると必ず起こる問題と考えておく必要があります。では、どうやっていじめを避ければよいのでしょうか。

## いじめを防ぐ方法(朝礼の話から)

外交という言葉を知っていますか。外交とは外国との交際、国際間の交渉という意味ですが、転じて他人との交際・交渉をさします。自分の嫌な人ともそれなりに付き合うことができる人がいます。もし、他の人と気まずい関係になったらどうすればよいのでしょうか。これまで何度も挨拶は大事だと話してきましたが、挨拶も立派な外交の手段です。そして、相手の良い点を見つけ上手に褒めることもまた外交手腕です。この方法で人間関係をよくすることができれば、トラブルも少なくなります。

しかし、これだけでは不十分な場合があります。皆さんは嫌がらせをされたり、脅されたり、暴力を受けたことはありませんか。そんなときはどうすればよいのでしょうか？いくら平和的に解決しようと努めても、相手によって無理な場合もあります。もう二十年も昔のことですが、当時勤務していたT中学校でこんなことがありました。

三年生でS・Y君という生徒がいました。少々融通が利かないところはありませんでしたが、正義感が強く生真面目な性格でした。身長は高いのですが運動は下手でした。そして、同じクラスにK・N君という一寸悪タイプの生徒がいました。腕力が強くスポーツも得意で、まわりから怖がられる雰囲気を持っていました。何が原因かは忘れましたがS・Y君がこのK・N君に目をつけられ、脅されたるようになってしまったのです。

私がたまたまこのクラスにいたときのことでした。友人とおしゃべりをしていたS・Y君にK・N君がしつこく嫌がらせをしていたようですが、そのうちに凄んで「ちょっとこっちへ来いや、しばいたろうか」と脅しをかけました。教室内はシーンと静まりかえってしまいました。思い空気の中、しばらくはじっと耐えていたS・Y君でしたが、意を決して立ち上がり「やるんならやってやる、かかってこいや」と大声で叫んだのです。そのときのS・Y君の顔面は血の気が引いて頬は引きつっていました。両の手で拳を力いっぱい握っていましたが、身体がブルブル震えているのが分かりました。もし、ケンカが始まったらS・Y君はいっぺんに殴られてしまう。すぐに止めなければと私は成り行きを見守っていました。二人はずっとにらみ合ったままです。そして、どれくらい時間が経ったのでしょうか、やがてK・N君はニヤリと笑い、視線をそらせて教室から出て行きました。私は大事にならずホッとしたことを覚えています。

ではなぜ、S・Y君は脅しを振り払うことができたのでしょうか。それは、自分よりも強い相手であっても、立ち向かっていく気迫が勝ったからだだと思います。S・Y君が「やるんならやってやる、かかってこいや」と言い返したとき、私は「S・Y、よく言った」と心の中で拍手しました。他人から嫌がらせやいじめを受けたとき、けんかではかなわぬまでも、それをねのける気持ちがあれば、「こいつはこれ以上脅してもダメだな」と感じさせることができます。これを気合いと言うのでしょうか。その出来事以降、K・N君の嫌がらせはなくなりました。彼もまたS・Y君の強い気持ちに気づき、これ以上はダメだと分かったのでしょうか。私はいい場面に立ち会えたと感じました。